

ブドウ「高尾」児童が収穫体験

掲載日：令和7年9月24日（水）

稲城市立稲城第二小学校は稲城市内にある大西園で9月上旬、ブドウ「高尾」の収穫体験授業を行った。

同市内で農業を営む大西園の上原徳和さん（53）と阿川健一さん（51）の2人が児童に指導をした。

同校では例年地元ブドウ農家の協力の下、同市の特産品であるブドウ「高尾」の栽培体験授業を行っており、年間を通してブドウ栽培の作業を体験している。

今回は最後となる第5回の体験授業で、3年生41人が収穫ばさみを使って1人1房ブドウの収穫をした。

上原さんは「この授業で地域農業の理解を深めて関心を持ってもらい、ブドウ栽培の認識を高めてくれたらとても励みになる」と話した。

担任の先生は「この体験を通して農家の努力や工夫を学び、特産品のブドウに愛着を持ち、未永く大切にしていこうとする子どもたちの心を育てたい」と話した。



収穫を指導する上原さん